

# 防災訓練

2017年4月27日

4月27日（木）、午後の5限、6限の時間に「南海トラフ巨大地震が発生」を想定して、新宮消防署から越水 薫副署長はじめ4名の講師を招き本番さながらに訓練を行った。

5限目の授業が10分ほど経過した13時30分に訓練用の緊急地震速報のアナウンスが流れ、生徒たちは即座に教室で机の下に隠れて身の安全を確保した。揺れが収まったというアナウンスの後、生徒たちは机の下から出て、教師の指示の下、あらかじめ教わっていた避難経路を通して避難を開始した。避難場所の本校山側のプールの駐車場に向け、『おはしも』（おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない）に気をつけて避難した。

避難場所集合後に、教頭から「本年度は例年よりも早く集合できたこと、おさない、はしらない、もどらないが守られてい



た点は大変良かった。ただ、少し話をしながら避難する姿が見受けられたことが次回への課題として欲しい。」との講評があり、また新宮市消防署 越水 薫副署長からは普段から非常時の心構えについて考えておくことの大切さを教わった。その後6限目に、各学年に分かれて実技訓練を行った。

1学年は新宮消防の沖崎さんの指導の下、学校に実際に備え付けられている消火用ホースを使った放水訓練を行った。

各クラスの防災委員が代表になって、グラウンドで消化のための放水実践さながらに行った。

2学年は新宮消防大西さんの指導の下、体育館下のグラウンド付近で、実際の消化器を使って、各クラスの防災委員8名が消火訓練を行った。

3学年は新宮消防の堀口さん、岡本さんの指導の下、本館3階の美術準備室から、各クラスの防災委員8名が防災袋による避難訓練を行った。

